

グリーン・イノベーションのロードマップ(案)

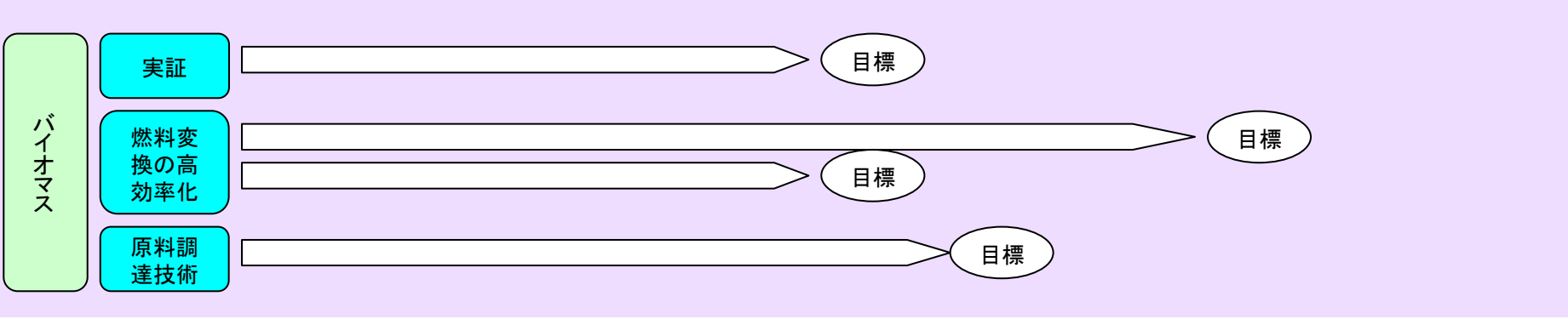
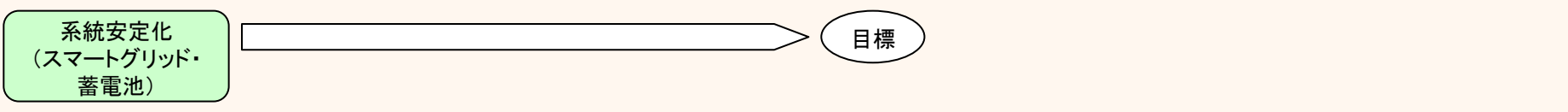
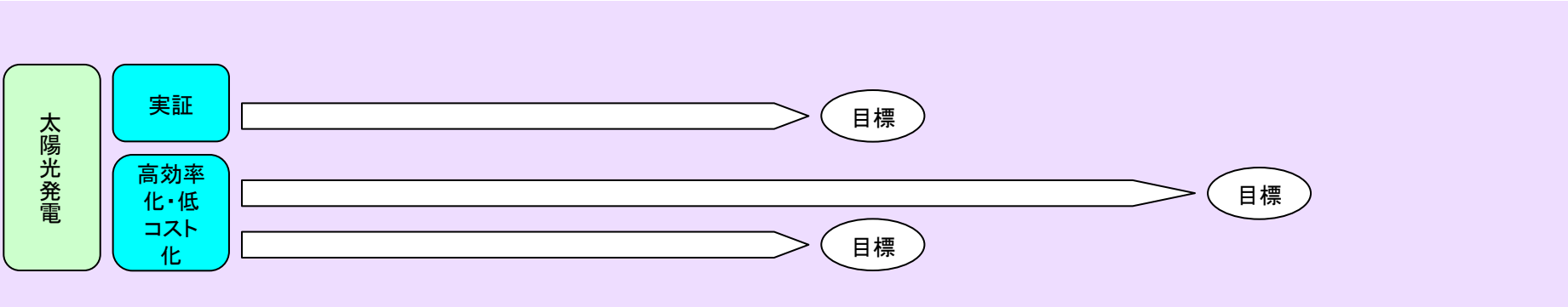
(再生可能エネルギーへの転換、エネルギー供給の低炭素化、エネルギー利用の効率化・スマート化関係)

太陽光発電などによる自然・再生可能エネルギーへの転換の促進（案）

2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2020以降

政策目標

【2020年導入目標】
 ○一次エネルギー供給に占める再生可能エネルギー：10%^(※3)
 ○太陽光発電： ・最大設備容量2,800万kW^(※2)、 ・最大設備容量5,000万kW^(※1)
 ○バイオマス： ・原油換算で約750万kL利用^(※2)、 ・石油換算で約1,747万kL利用^(※1)



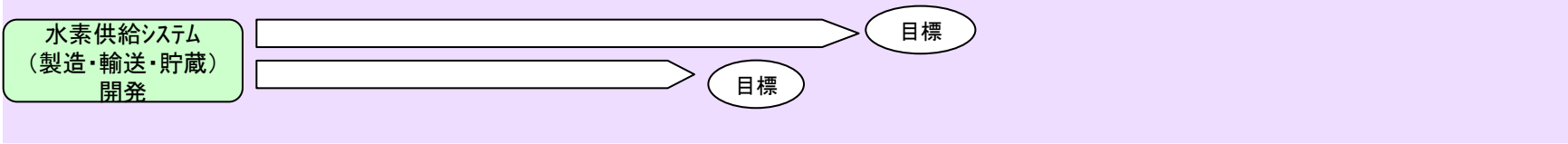
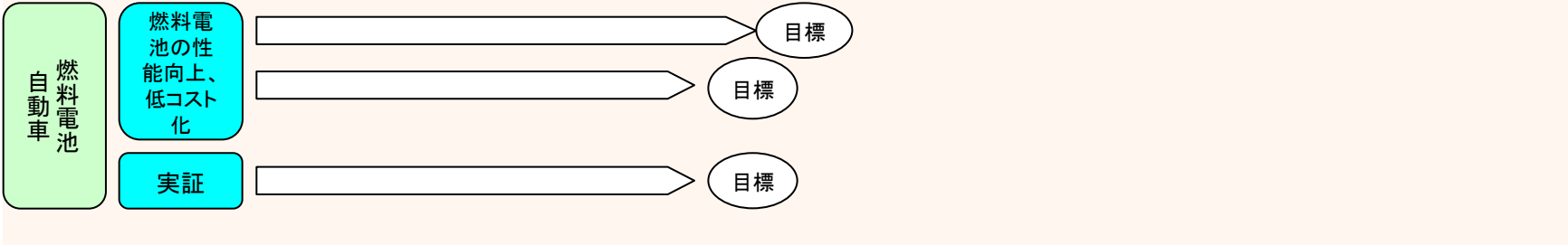
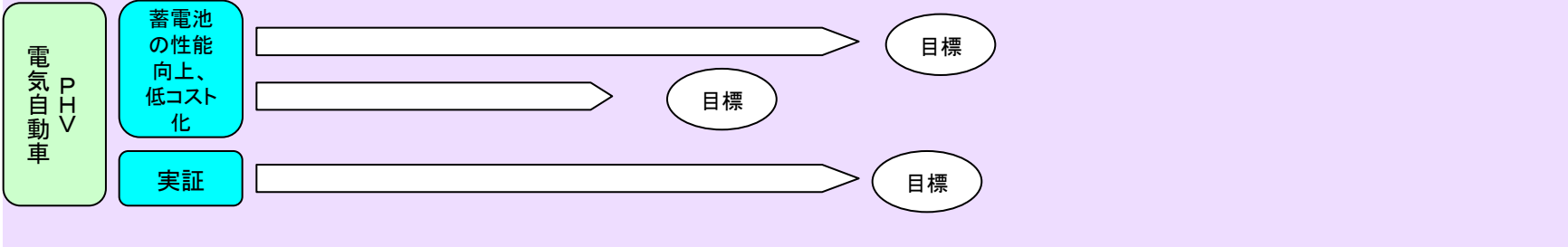
※1:地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ(小沢環境大臣試案)H22.3月
 ※2:長期エネルギー需給見通し(再計算)経済産業省,H21.8月
 ※3:地球温暖化対策基本法案(H21.3月閣議決定、国会審議中)

次世代自動車の普及による交通運輸分野の低炭素化（案）



政策目標

【2020年導入目標】
 ○電気自動車:年間約70万台、ハイブリッド自動車:年間約120万台、プラグインハイブリッド車:年間約40万台(※1)
 ○次世代自動車:新車販売の約50%(250万台程度)、普及台数(ストック)約1,500万台。(※2)



※1:地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ(小沢環境大臣試案)H22.3月
 ※2:長期エネルギー需給見通し(再計算)経済産業省,H21.8月

原子力発電による社会の低炭素化の推進（案）

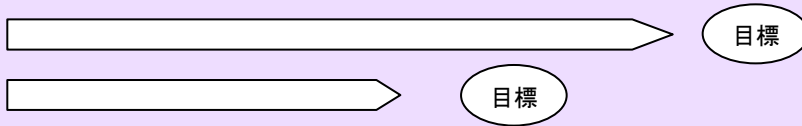
2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2020以降

政策目標

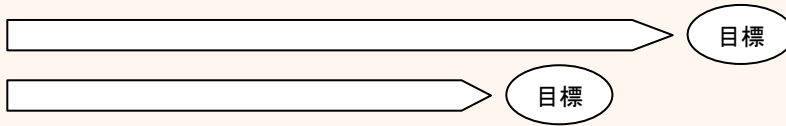
【2020年導入目標】

- 設備利用率を最大88%に向上、新增設8基^(※1)
- 設備利用率を約60%→約80%に向上、新增設8基^(※2)

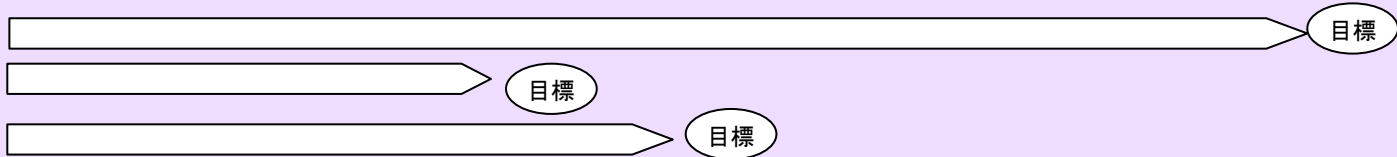
軽水炉の高度化 技術開発



次世代軽水炉 の技術開発



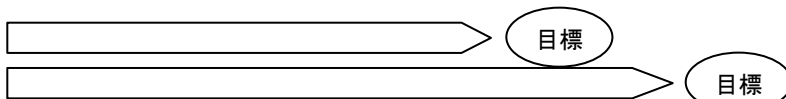
高速増殖炉 サイクル技術開発



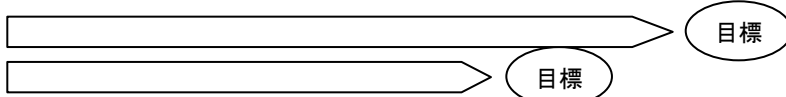
核融合 技術開発



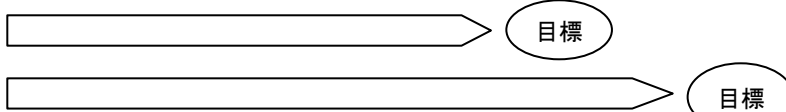
共通関連施策



国際標準化 ・海外展開



普及・規制施策



※1:地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ(小沢環境大臣試案)H22.3月
 ※2:長期エネルギー需給見通し(再計算)経済産業省,H21.8月

オフィス・住宅の省エネ化による環境負荷低減社会の実現（案）

2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2020以降

政策目標

【2020年導入目標】

○住宅・建築物の環境性能:

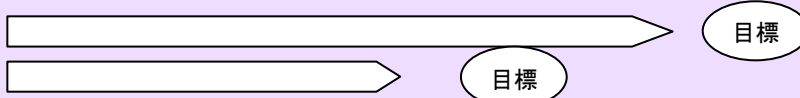
・新築住宅・建築物は100%、既存住宅は30%、既存建築物は67%がH11基準達成^(※1)

・新築住宅の80%、新築建築物の80~90%がH11基準達成。ストックベースで住宅の約60%がH4基準以上、建築物の約60%がH11基準達成^(※2)

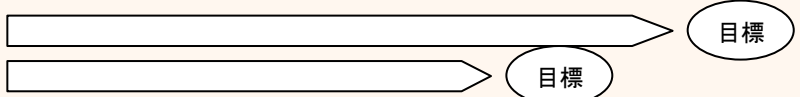
○住宅用ヒートポンプ給湯器:最大1,640万台導入^(※1)。高効率給湯器(ヒートポンプ,潜熱回収型,燃料電池)約2,800万台導入^(※2)

○高効率照明の導入:効率が80%向上^(※1)、普及率14%^(※2)

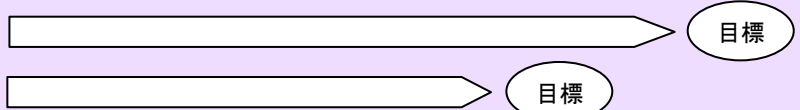
住宅・建築物の 高断熱化技術



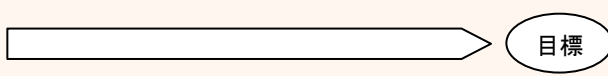
ヒートポンプの効率 向上、低コスト化



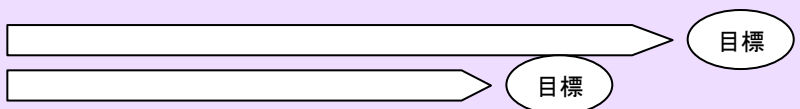
定置用燃料電池 の効率向上、低コスト化、耐久性向上



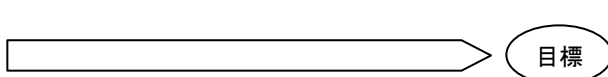
高効率照明技術 (効率向上)



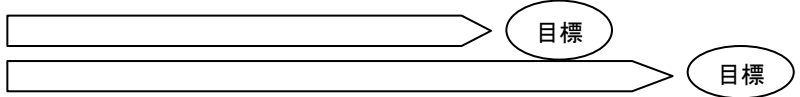
スマートグリッド (エネルギー管理システム)



国際標準化 ・海外展開



普及・規制施策



※1:地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ(小沢環境大臣試案)H22.3月

※2:長期エネルギー需給見通し(再計算)経済産業省,H21.8月

家電・情報通信機器等の省エネ化による社会の低炭素化（案）

2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2020以降

政策目標

【2020年導入目標】

- 市場で購入される機器の全てがトップランナー基準を満たす、高効率機器がほぼ100%普及^(※2)
- 家電の効率が35%向上、電気機器の効率が45%向上^(※1)

情報通信機器・システム

目標

目標

次世代半導体デバイス

目標

目標

家電

目標

目標

国際標準化・海外展開

目標

目標

普及・規制施策

目標

※1:地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ(小沢環境大臣試案)H22.3月
 ※2:長期エネルギー需給見通し(再計算)経済産業省,H21.8月

化石燃料のグリーン化（案）

2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2020以降

政策目標

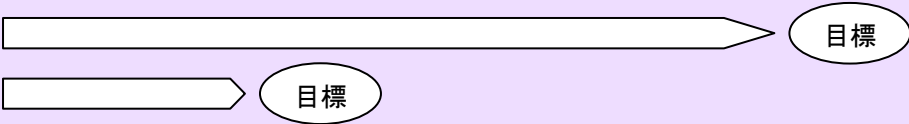
【2020年導入目標】
 ○設備の更新時に、実行段階にある最先端の技術を最大限導入（製鉄革新技術）^(※1)
 ○更新時にはすべて左傾最先端の技術を導入太陽光発電導入量^(※2)

高効率火力発電

天然ガス発電



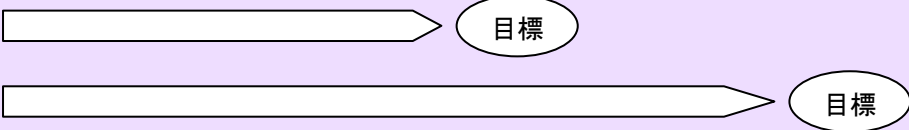
石炭火力発電



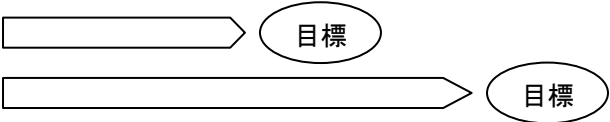
CCS



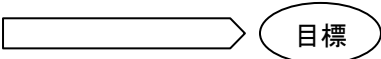
革新的製造プロセス



国際標準化・海外展開



普及・規制施策



※1: 地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ(小沢環境大臣試案)H22.3月
 ※2: 長期エネルギー需給見通し(再計算)経済産業省,H21.8月